

第 19 回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日 時：平成 29 年 6 月 15 日（木） 13：00～15：00

場 所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第 2 大会議室

1. 第 18 回燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨（案）確認

NDF より、平成 29 年 4 月 12 日に開催された第 18 回燃料デブリ取り出し専門委員会の議事内容を記載した議事要旨について説明した。

2. 「燃料デブリ取り出し方針の決定」に向けた戦略的提案に関するこれまでの議論の整理について

NDF より、燃料デブリ取り出し方針の決定に向けた戦略的提案に関するこれまでの議論の状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 戦略的提案の構成について、工法の実現性評価を行うための前提となる現場情報や安全の考え方等については、それぞれの内容も重要であるが、結論に至る論理の道筋に沿った図書の書き方にも留意すべきである。
- 燃料デブリ取り出し工事の検討に当たっては、使用済み燃料の取り出しなど関連分野で得られた知見や今後得られる経験等も取り込んでいくべきである。

3. 燃料デブリ取り出し作業時のリスク評価について（案）

NDF より、燃料デブリ取り出し作業時のリスク評価に関する検討状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 燃料デブリ取り出し作業時に事象が起こった際の影響の大小をどのように決めるかは、関係者間の合意形成が必要であり、早い段階で着手すべきである。
- 作業時のリスクを評価する手法については、現在福島第一で進行している工事案件を例に適用することにより、その有用性を検証するアプローチもある。
- リスク評価については、現在の状況からこの評価を基に対策したことによりどのようにリスク低減が図られたかを確認し、繰り返し評価を実施していくべきである。

4. 燃料デブリ取り出し 具体的工法の検討状況

IRID より、燃料デブリ取り出しの工法に関する検討状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 燃料デブリ取り出しで使用する設備は高線量下の厳しい作業環境で使用されることから、保守方法やトラブル時の対応等にも予め配慮しておくべきである。

5. 格納容器内部調査の状況

IRID より、格納容器内部調査の状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 今後実施する内部調査の計画においては、過去に実施した調査での知見や経験も反映するべきである。

以 上